

日本洋書協会会報

BULLETIN OF JAPAN ASSOCIATION
OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

目次

- 新年理事長挨拶20051
- 理事会報告・ロンドンオンライン会議2
- 海外ニュース・委員会報告3

新年明けまして おめでとう ございます



理事長 村田 誠四郎

皆さん、新年明けましておめでとうございます。

この2005年をご家族と一緒に楽しい思いでお迎えになられたかと思います。

昨年2004年は申年ということで、新しい芽がどんどん吹き出る年ですとお話したかと思います。皆さんの会社でも、またお一人お一人にもそういう芽がどんどん吹き出ると良いですねというお話をしましたが、今年はどうやらそうでは無いようです。

今年は酉年でございます。芽はいろいろ吹き出るようですが、様々な外圧、重圧があって組んず解れつしながら伸びてゆく芽が出るようでございます。

2005年も色々な事が起こると思いますが、そういう外圧を押しつけて新しい芽を吹き出させて行きたいというふうに思います。

この洋書業界も昨年は海外に於いてはここ数年のM&Aのなかでは最大級と言われるKluwerとSpringerとの合併がありました。考えられないような事が数多く起きますし、今年もまたそういう事が多々出てくるのではないかと考えています。

国内においても取次ぎの問題もございました。そし

てユーザーサイド、つまりお客様のほうを見れば国立大学が独立法人化する、また公立大学もこれから独立法人化する、ロースクールの開校などによってユーザーサイドも大きな変化をしていく年となります。

そういう大きな変化の中で、我々日本洋書協会会員の企業にとって、お客様が本当に喜ぶサービスや商品を提供することに知恵を絞り、新しい芽を厳しいですけども吹き出させて、そして発展する年とさせていただければと思います。

そしてそういう中で多くのご意見をいただいておりますけれども、協会理事会のあるべき姿も、またそういう市場にマッチした、市場に応えることができるような理事会になればというふうに期待しておりますし、新しい事務局と理事会の協力を以って本当にこの厳しい中で我々が新しく成長することを成し遂げて行きたいというふうに思います。

最後に協会加盟各社の今年ますます発展されますように、また所属される社員の方々の皆様のご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

日時：平成16年12月20日（月）

委員会報告

1. 委員会報告

(1) 総務委員会

・ ロゴ再募集：1月15日まで募集を延長した。また今回は社員に限らず、取引先のデザイナー等も募集資格とした。これに関して

① Web掲載して投票したらどうか ② 若手会議でも取り上げる との意見があった。

(2) 広報委員会

・ 次回セミナー：2月24日（木）3時～5時 講師は元Princeton UP.のLippincott氏

(3) ダイレクトリー・HP委員会

・ Webのニュース欄を充実させたい。特に書籍関連。

・ 最近では①グレシャム副理事長のロンドンIPGでの講演記録、②齋藤純生氏の著作に対する書評を掲載した。

(4) 文化厚生委員会

・ 新年賀詞交歓会：略

・ 同好会：参加メンバーが固定化している。予算が逼迫している現状で再考が必要。これに関して①ゴルフなどはスポンサーを付けたらどうか。②若い人が遠慮無く参加できる方法を考えるべきとの意見があった。

2. その他

・ 若手会議（賀川理事から）：1月25日（火）に二回目を行う。理事会社の他に15社に参加要請を行っている。今後必要であれば予算化し、継続していきたい。会議の議事録は理事会に報告する。

「ロンドンオンライン会議」 —Online Information 2004—に参加して

2004年11月30日から12月2日までの3日間ロンドンで開催された「オンライン会議（Online Information 2004）」に参加しました。本会議は学術・ビジネス関連情報の関係者が一同に集う、世界的に著名な催しであり、今年で28年目を迎えます。

他のコンベンション同様、会議セッションと展示の2つの部分から構成され、会議部分には40以上の国から約900人が参加し、オープンアクセス、Googleの科学技術コンテンツへの進出、ナレッジマネジメントなど最近よく話題とされるトピックに関するセッションが行なわれていました。

展示は、以前よりオリンピアのグランドホールが使われ、ちょうどアイスリンクほどの大きさの会場にThomson Scientific、Elsevier、John Wiley & Sons、HighWire Press、などお馴染みの大手出版社やProQuest、Dialog、Questel Orbitなどのオンラインベンダー、また、Innovativeのような図書館システムベンダーなど出版を取巻く幅広いジャンルの機関が総数200弱出展していました。

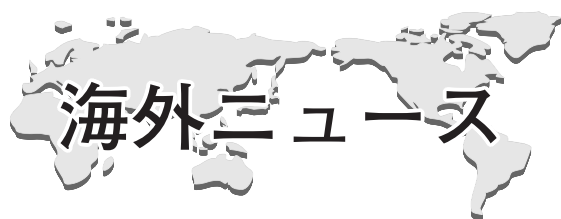
2003年から「Content Management Europe 2004」が併設され、前述の「コンテンツ」や「情報」を提供する機関のほかに情報活用のための「システム」や

「ソリューション」を提供する機関が約40ほど参加しましたが、今回は企業や機関が持つ内部情報の管理などの取り扱いに焦点をあてた「Enterprise Document & Records Management (EDRM)」と呼ばれる行事を更に追加し、この部分の充実を図ろうとしていることが窺えました。

多くのブースには椅子とテーブルが置かれ、製品紹介よりも業界関係者の打合せの場としての性格が年々強まっています。業界内を渡り歩いて築き上げた人脈やノウハウを活かしてコンサルタントとして自立した人たちが仲介役として活躍している姿が目につきました。

展示来場者は3日間で延べ10,600人と発表されていますが、ここ数年は横ばいで推移しており1990年代のCDデータベースやインターネット関連製品が登場した頃の活気は感じられなくなっています。このような状況ではありましたが、運営にあたっているVNU Exhibitions Europe (旧Imark Communications) は、早くも2005年11月29日から12月1日に次回の会議を開催すると発表しています。

ユサコ株式会社マーケティングセンター 増田 豊
(協会ホームページから転載)



◆… ハリー・ポッターと津波募金

オハイオ州の Learned Owl Book Shop は、昨年12月26日のスマトラ沖津波への募金活動として、独自の方法を考え出した。この書店では、募金者（国際赤十字の津波募金へ200ドル募金した人）先着20名に、今年7月16日12:01に販売が開始されるハリー・ポッター・シリーズの新作（Harry Potter and the Half-Blood Prince）をプレゼントする。反響が大きく、ハリー・ポッター本に並んだ人のうち多数が募金を申し出た場合は、200ドルのうち176ドルを赤十字に募金するという。

PW Daily for Booksellers JAN/7/2005

◆… Bloomsbury USA が Walker Publishing を買収

欧州の独立系出版社大手である Bloomsbury Publishing PLC の米国子会社 Bloomsbury USA が創業45年の Walker & Company を7百万ドルで買収した。Walker は Bloomsbury USA の一部門となり、出版人 George Gibson は Bloomsbury USA の出版人 Karen Rinaldi の配下につく。Walker は、児童文学、児童向けノンフィクション、及び一般文芸書の分野で年間約60タイトルを刊行しているが、今後は Bloomsbury のインプリントとして出版分野および刊行点数の拡大を

目指している。Bloomsbury Publishing PLC は、ハリー・ポッター・シリーズ第6作の刊行を宣伝中である。

Author Link News DEC/22/2004

◆… Google と大手図書館が計画する オンライン・デジタル・プロジェクト

検索エンジン Google と5つの大手図書館が、オンライン・デジタル図書館を設立する契約を交わした。計画では、3千万件もの情報（絶版本を含む）を所蔵して、それらのフルテキストおよびイメージの検索を可能にするという。参加する図書館には New York Public Library、Harvard、Stanford、そして University of Michigan が含まれる。この動きに対し、著作権侵害と受け取る出版社があることを懸念する図書館人もいる。しかし、Association of American Publishers (AAP) は、法的にこれを規制する計画は無いとしている。

Author Link News DEC/21/2004

◆… クリントン自伝のペーパー版刊行

Vintage は、今年5月および6月に、クリントン元大統領の自伝 My Life を百万部以上の規模で出版すると発表した。トレード・ペーパー版を25万部、マスマーケット・ペーパー版（The Early Years と The Presidential Years の2巻）をそれぞれ50万部、刊行するとのこと。トレード版とマスマーケットの第1巻が5月31日（ハリー・ポッターの7月16日に先んずる日付）に、第2巻が6月28に出るという。

PW Daily for Booksellers JAN/12/2005

委員会報告 <文化厚生委員会>

第115回 72会ゴルフコンペ成績表

2004年12月4日(土) 晴れ 会場：高根カントリークラブ 参加者：14名(9社)（新ペリア方式によるハンデ）

〔成績表〕

	氏名 (所属)	グロス	ハンデ	ネット	ベストグロス	西山	幸児	83
優勝	宮川 修 (丸善)	95	21.6	73.4	ドラコン	宮川 修・和田 茂		
2	山本 明彦 (日新)	101	27.6	73.4		根来 恒男・鶴 竜次		
3	鶴 三郎 (東亜ブック)	94	20.4	73.6	ニヤビン	小林 謙作・山本 明彦		
4	西山 幸児 (西山洋書)	83	8.4	74.6		鶴 竜次・佐藤 市郎		
5	小林 謙作 医学書院	86	10.8	75.2				(大洋交易 和田茂)

海外出張・海外見本市視察

～格安航空券＋市内ホテルのお得な自由日程旅行プラン～

予約受付中の見本市(2005年1月現在)

★ LONDON INTERNATIONAL BOOK FAIR

開催時期：2005年3月13日～15日 開催地：ロンドン（英国）

* 視察旅行代金（例）：¥155,000 - (ロンドン市内滞在3泊5日)

★ PARIS BOOK FAIR

開催時期：2005年3月18日～23日 開催地：パリ（フランス）

* 視察旅行代金（例）：¥155,000 - (パリ市内滞在3泊5日)

★ BOLOGNA CHILDREN'S BOOK FAIR

開催時期：2005年4月13日～16日 開催地：ボローニャ（イタリア）

* 視察旅行代金（例）：¥229,000 - (ボローニャ市内滞在4泊6日)

★ BOOK EXPO AMERICA

開催時期：2005年6月3日～5日 開催地：ニューヨーク（米国）

* 視察旅行代金（例）：¥149,000 - (ニューヨーク市内滞在4泊6日)

★ FRANKFURT BOOK FAIR

開催時期：2005年10月19日～23日 開催地：フランクフルト（ドイツ）

* 視察旅行代金（例）：— 未定 — (3月末頃発表予定)

※各都市、ご希望のホテルや、会場へアクセスの良いホテルをご手配致します。

☆ 弊社では、下記見本市の手配を、毎年行っております ☆

LONDON BOOK FAIR（ロンドン）

FRANKFURT BOOK FAIR（フランクフルト）

PARIS BOOK FAIR（パリ）

HONG KONG BOOK FAIR（香港）

BOLOGNA CHILDREN'S BOOK FAIR（ボローニャ）

BEIJING BOOK FAIR（北京）

BOOK EXPO AMERICA（米国・開催都市）

TAIPEI BOOK FAIR（台北） 他

お問い合わせ：株式会社ジェイワールドトラベル

JATA正会員（国土交通大臣登録旅行業第1359号）

TEL:03-3402-9955 / FAX:03-3402-9955 担当：藤代

URL:www.jw-trvl.co.jp / E-mail:tet@jw-trvl.co.jp

その他、早割り航空券やビジネス・デイスカウトの手配や、国内出張なども扱っております。